

2023年1月16日

「巨樹・古木の診断イベント」実施について ～大樹生命は巨樹・古木を保全します～

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、一般社団法人 日本樹木遺産協会（代表理事 寶藏寺 弘典）に協賛し、**巨樹・古木の保全**に取り組んでいます。

その取組みとして、2022年12月に**巨樹・古木の診断イベント**（※）が実施されましたので、お知らせします。

（※）主催：東京都江戸川区、共催：（一社）日本樹木遺産協会

診断イベントは、東京都江戸川区の一之江抹香亭（一之江境川親水公園内）にて行われ、さまざまな世代の方が参加されました。

一之江抹香亭にある推定樹齢 750 年以上の「タブノキ」について、樹木医が専用の計測器を使用し、樹木の内部がどのくらい腐朽しているかを調べました。

診断結果について、樹木の腐朽率は、68%でした。この腐朽率は、樹齢が高い樹木としてはよく見られますが、一方、倒木の危険もあります。

巨樹・古木は、地域の歴史を後世に伝える「**文化的価値**」や、最大限まで生育した個体としての「**学術的価値**」を持つ「**地域の財産**」です。

希少な巨樹・古木を次世代に受け継ぐため、当社は（一社）日本樹木遺産協会への協賛を通じ、樹木医による定期的な診断・治療を行ってまいります。

当社は今後も、社会の一員として豊かな社会の実現につながるよう、地域に根ざした社会貢献・環境保護活動に努めてまいります。



診断イベントの様子

[本件と関連性の深い SDGs テーマ]

11 住み続けられるまちづくりを



目標 11
住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を



目標 13
気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさを守ろう



目標 15
陸の豊かさを守ろう

以上